

子ども会未来夢



高崎市子ども会育成団体連絡協議会 (こどもかみらいむ)

高崎市高松町35番地1 (郵便番号: 370-8501)

高崎市市民部防犯・青少年課内

電話: 027-321-1297 FAX: 027-322-2559 (8:30~17:30以外)



平成29年度 行事予定 (案)

4 / 8	定期総会・研修会・歓送迎会	高崎ビューホテル	7 / 31	スポーツ大会審判監督会議	高崎市役所会議室
4 / 23	安全共済会申込受付	青年センター	8 / 19~20	スポーツ大会	吉井運動公園
4月~5月	写生大会 (第61回)	各校区で開催	9 / 10	市上毛かるた指導者講習会	青年センター
5 / 7	スポーツ大会審判講習会	青年センター	12 / 21	市かるた審判・監督会議	市民活動センター
6 / 4・18	校区育成指導者研修会	青年センターほか	1 / 14	市上毛かるた大会 (第59回)	高崎アリーナ
6 / 18	インリーダー養成講習会	青年センターほか	1 / 21	県大会出場選手説明会	市民活動センター
7 / 7~9	写生大会展示会	市民活動センター	2 / 4	上毛かるた競技県大会	ぐんま武道館
7 / 8	写生大会・子育連表彰式	市民活動センター	3月中旬	安全共済会説明会	市民活動センター

※この予定は、変更になる場合があります。※

市子ども会上毛かるた大会

県大会出場をかけて一三二コートで熱戦展開 選手の勝利への執念に審判員も真剣勝負

平成二九年一月二二日(日)に第五八回高崎市子ども会上毛かるた大会が浜川体育館において盛大に開催されました。

参加人数は小学生約七五〇名・中学生約五〇名・審判員約二〇〇名・大会役員約一五〇名・各小学校の校長先生約五〇名の参加で行なわれました。

開会式では、市長様・市議会議



長様・市小学校長会長様の激励のお言葉をいただき、各小学校長が見守る中、午前中に五校ずつのリーグ戦が行なわれ、午後は各リーグ一位同士の対戦による二次リーグと中学生の部のリーグ戦も加わり、熱戦が繰り広げられました。その後、決勝戦と三位決定戦が行なわれました。

開催にあたって前日からの会場準備や大会運営や審判にあたっていただいた皆さん、コーナー審判と読み手でのご協力をいただきました市審判部の皆様には厚く御礼申し上げます。

当日、選手の送迎や応援いただいた校区役員の皆様と保護者やご家族の方々には早朝より誠にありがとうございました。

市大会で優勝・準優勝した団体・個人の選手のみなさん(一・二年の部を除く)には、二月五日に開催された、第七〇回上毛かるた競



技県大会に高崎市代表として出場していただきました。

大会結果は、以下のとおりです。なお団体の部の選手名の掲載順は校区からの報告の順にしました。来年度の大会は新しく出来た高崎アリーナで開催されます。

▽団体戦一・二年の部

優勝 観音寺子ども会(堤ヶ岡)

清水 快飛 大沢 涼菜

三保家玲愛 内田 優花

準優勝 上中居子ども会(中居)

富田 茉音 三苫 幸翔

堤 柁一 吾孫子和那

第三位 菅谷子ども会(桜山)

塩野 美琴 樋口 実来

上毛かるた競技県大会

高崎市代表選手県大会でも大活躍 優勝一団体・二個人・準優勝二団体・一人他入賞者多数に

平成二九年二月五日(日)にぐ

んま武道館において第七〇回上毛かるた競技県大会が開催されました。高崎市代表として出場した選手の皆さん大変お疲れさまでした。各選手の健闘をたたえます。各部門の上位入賞は以下のとおりです。

▽団体戦低学年(三・四・五年)の部

優勝 筑縄子ども会(六郷)

大村 尚文 仲二見美鈴

▽個人戦低学年(三・四・五年)の部

優勝 小林 望愛

棟高子ども会(堤ヶ岡)

準優勝 神宮 悠人

日の出子ども会(八幡)

▽個人戦高学年(五・六・七年)の部

第五位 白石 真菜

下三子子ども会(寺尾)

▽個人戦中学校の部

優勝 福田 陸人

菅谷子ども会(桜山)

第三位 山口 花

下三子子ども会(寺尾)

入賞された選手の皆さんおめでとうございます。



- 土岐 苑加 福田 雄大
- 第四位 上大類子ども会(東部)
- 栗原 千扇 笹岡 知生
- 井上 珠羽 新井 優里
- ▽団体戦三・四年の部
- 優勝 菅谷子ども会(桜山)
- 長谷川結菜 藤塚結乃愛
- 境原 快 阿久津彩羽
- 準優勝 筑縄子ども会(六郷)
- 大村 尚文 仲二見美鈴
- 坂田 結菜 岡庭 楓
- 第三位 下居中居四丁目子ども会(中居)
- 金井 優磨 清水日南子
- 田中 彩香 田中 友佳
- 第四位 長根子ども会(吉井西)
- 安藤 正真 金田 菜央
- 奥平 琥珀 加部 花音
- ▽団体戦五・六年の部
- 優勝 上佐野第一子ども会(佐野)
- 丸山 璃緒 大熊 紫乃
- 青木 尊叶 山口 拓斗
- 準優勝 新保子ども会(東部)
- 奥村 梨乃 宮野 真佳
- 井草 瑠亜 星野明日香
- 第三位 棟高子ども会(堤ヶ岡)
- 石井 海汐 並木健太郎
- 高橋 千喜 吉村 和己

- 第四位 中泉子ども会(桜山)
- 柄澤 育希 岡田 大知
- 樋口 智春 竹淵乃ノ加
- ▽団体戦中学生の部
- 優勝 下中居・中居四丁目子ども会(中居)
- 大谷 未歩 大森 瞬
- 清水 理帆 福山 結喜
- 準優勝 館双葉子ども会(寺尾)
- 三輪 真弓 阿久澤舞羽
- 江原 緋翠
- 第三位 王塚子ども会(金古南)
- 志村 奈実 木原 叶
- 小林 由佳
- 敢闘賞 中泉子ども会(桜山)
- 降旗 菜摘 富澤 紗羽
- 樋口 歌菜
- ▽個人戦一・二年の部
- 優勝 塚田 紗良
- 王塚子ども会(金古南)
- 準優勝 齋藤 大和
- 観音寺子ども会(堤ヶ岡)
- 第三位 白田 藍
- つるべ子ども会(寺尾)
- 第四位 大澤一步暉
- 井出子ども会(上郊)

- ▽個人戦三・四年の部
- 優勝 小林 望愛
- 棟高子ども会(堤ヶ岡)
- 準優勝 神宮 悠人
- 日の出子ども会(八幡)
- 第三位 松嶋 桃
- 行力子ども会(長野)
- 第四位 菅原 瑞規
- 若草子ども会(寺尾)
- ▽個人戦五・六年の部
- 優勝 阿久沢果歩
- 上新保子ども会(新高尾)
- 準優勝 白石 真菜
- 下三子子ども会(寺尾)
- 第三位 吉田 真優
- 上小島第二子ども会(六郷)
- 第四位 竹内 瑛夢
- 山名北子子ども会(南八幡)
- ▽個人戦中学生の部
- 優勝 福田 陸人
- 菅谷子ども会(桜山)
- 準優勝 山口 花
- 下三子子ども会(寺尾)
- 第三位 永山 香穂
- 観音寺子ども会(堤ヶ岡)
- 第四位 綱島 颯志
- 原子子ども会(新高尾)

「子ども会活動体験」作文大募集



高崎市子育て連では、子ども会活動体験作文を年間通じて募集しています。子ども会活動は、異年齢の仲間集団の中で豊かな活動体験を通して、子どもたちの成長を促すことを目的として活動を展開しています。今後の子ども会活動をさらに充実発展させていくために、子ども自身に子ども会での体験を作文にしたいと、子どもの率直な「意見や感想」を応募していただくことにより、子ども会活動を推奨する目的で実施をします。

作文内容は、「子ども会活動(育成会主催行事を含む)に参加」して、自分自身で体験したことや、感じた事などを作文にさせていただくものです。どんな内容でも子ども会(育成会)活動に関するものであれば大丈夫です。市販の400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめてください。

応募作品には作文の裏面に、作文の題名、子ども会名、氏名、学年、住所、電話番号を記載してください。

応募された作品は、市子育て連広報紙等に掲載のほか子ども会活動啓発資料として使用させていただきますことがあります。また、毎年8月末日までに応募いただいた作品の中から優良な作品については「群馬県子ども会育成団体連絡協議会の子ども会活動体験作文コンクール」に推薦いたします。

おさんの書いた子ども会体験作文をどしどしご応募ください。応募お待ちしております。応募作文の提出先は、市子育て連事務局(高崎市防犯・青少年課内)へ提出してください。

市子ども会スポーツ大会

第四九回高崎市子ども会スポーツ大会で熱戦がくり広げられました。

平成二八年八月二〇日(土) 二二日(日)の二日間に渡り、高崎市子ども会スポーツ大会が吉井運動公園で開催されました。

ソフトボール、ポートボール、ドッジボール、長縄跳びの四種目の競技が行なわれました。全ての競技で猛暑の中選手達はチーム一丸となり持てる力を全て発揮して



→期待と緊張でいっぱい選手たち

いました。入賞したチームの選手達は表彰式でも嬉しそうに輝いていました。大会開催にあたり、準備、審判などにご協力いただいた校区協力者の皆様に感謝申し上げます。

大会結果は以下の通りです。



→全選手の気持ちを込め宣誓



←ダブルプレーとれたかな？

ソフトボール

- 優勝 岩鼻小校区
 - 準優勝 東部小校区
 - 三位 佐野小校区
 - 敢闘賞 新高尾小校区
- ## ポートボール
- 優勝 新高尾小校区
 - 準優勝 東部小校区
 - 三位 倉賀野小校区
 - 敢闘賞 中居小校区
- ## ドッジボール 高学年
- 優勝 寺尾小校区
 - 準優勝 長野小校区
 - 三位 塚沢小校区
 - 敢闘賞 六郷小校区



←ナイスシュート!!決まる

ドッジボール 低学年

- 優勝 寺尾小校区
 - 準優勝 矢中小校区
 - 三位 浜尻小校区
- ## 長縄跳び
- 優勝 寺尾小校区
 - 準優勝 塚沢小校区
 - 三位 入野小校区



→一瞬も気の抜けない試合中



→一糸乱れぬ躍動です

子ども会インリーダー養成

平成二八年六月二二日(日)にインリーダー養成講習会が、高崎青年センターで開催されました。

時候不順な時節柄、あいにくの曇天となりましたが、市内の校区を代表する約一〇〇人の五・六年生が、子ども会のリーダーを目指し、元気に集まりました。

強し、その後は群馬県子ども会育成団体連合会前理事の柿沼孝美講師を迎え、楽しいレクリエーションの始まりです。

開会式に続き、講話「子ども会のリーダーについて」では、リーダーになるための心構えなどを勉

餃子じゃんけん・言葉返し遊び・拍手遊び等の、ユニークなゲームや、ヒモや輪ゴムを使ったマジックを教わり、トライしてみるもの

の、大人も子どもも四苦八苦。レクの最後、柿沼講師によるマジックショーに子ども達から大きな拍手と歓声が湧き上がりました。

お昼は恒例の「子育連カレライス」。班ごとに体育館でのランチタイムとなりました。遠慮がちにお代わりする子や走ってもらいに行く子もおり大好評の様子でした。

午後は渋谷理事の指導による、KYT(危険予知トレーニング)講習で、危機管理やリスクマネージメントについて学びました。午



真剣な眼差しの子どもたち



恒例の子育連カレライス

前に引き続き班ごとにリーダーと書記を決め、イラストを見ながら危険箇所を見つけ、それを防ぐにはどのようにしたら良いか話し合いました。次々と意見が出る大人の班に対し、子ども達だけで意見を出し合う事に苦戦の様子でしたが、大人にはない柔軟な考え方や捉え方で次々と意見が出され、最後は全員で元気に発表する事ができました。



夢中で食べる子どもたち

つけ出し、時間内にゴールしなければなりません。「どこどこ?」と真剣な眼差しで探す子ども達見つけた瞬間「あつた!」と走り出し、「あそこにあつたよ!」と、教え合う様子も見られました。

閉会式では、オリエンテーションの表彰と受講の修了証の授与が行われ、帰る頃には安堵からか、みんな笑顔が溢れていました。たくさんさんの頼もしいリーダーの誕生です!



危険なところを見つけよう(KYT)



チェックポイント発見!!

子ども会写生大会

高崎市内四八校から六五三四点の作品集まる。
自分の思いを個性的に描き表現されたすばらしい作品がずらりと並びました。

平成二八年四月から五月にかけて第六〇回子ども会写生大会が開催されました。今年度もメイン会場は設定されず、各校区が選定した場所で実施されました。天候にも恵まれ子どもたちも真剣な眼差しで「ふるさと高崎の風景」を描いていました。また親子で写生を



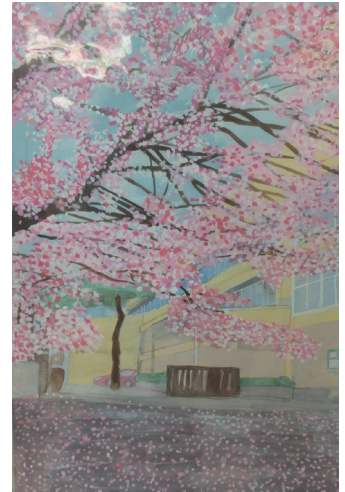
楽しむ様子も見られました。

子どもたちが一生懸命描いた作品は各校区にて選考が行なわれ多彩な作品が選ばれました。各賞の選考には大変悩まされたことでしょう。

各校区の特賞作品は市子連に集められ、各賞の選定が行なわれました。各校区からの作品はとても素晴らしい作品ばかりで選考が難しかったです。

各校区にて選定された特賞、金賞、銀賞作品は七月八日から十日までの三日間、高崎市市民活動センターに展示され、九日には特賞受賞者の表彰式が行なわれました。受賞された皆さん、おめでとうございます。惜しくも受賞を逃した皆さんも次回頑張ってください。

以下に各賞を受賞した子ども名



を紹介します。(各校特賞のみ記載)

▽市長賞

須藤 孝介 (金古小六年)

▽市議会議長賞

富樫 好実 (北小六年)

▽市教育長賞

猪内 孔盟 (中川小四年)

▽市区長会長賞

高橋 瑠里 (長野小六年)
橋本 和寛 (倉賀野小四年)
柳澤 芽依 (東部小三年)
橋本 悠記 (国府小二年)
中里見南月 (里見小五年)

▽市小学校長会長賞

木原 七菜 (六郷小六年)
佐藤 颯真 (城東小六年)
大塚 麗樺 (大類小五年)
塚本 真央 (乗附小六年)
黒澤 奏映 (吉井西小一年)

▽市PTA連合会長賞



▽(一社)市観光協会理事長賞

若林 星七 (塚沢小五年)
太田 有哉 (南八幡小六年)
塩谷はるな (箕輪小六年)
三原かん那 (箕郷東小三年)
中曽根克典 (下里見小六年)
石崎 万結 (東小六年)
武藤理彩子 (西小二年)
鬼形 翠 (金古南小五年)

▽市社会福祉協議会長賞

田口 梨紗 (京ヶ島小六年)
江原 彩華 (滝川小六年)
武藤優里奈 (岩平小五年)

▽ぺんてる社長賞

伊津野百音 (片岡小六年)



▽文具事務用品組合長賞

森本 大貴 (新高尾小五年)
坂本 優姫 (西部小四年)
石井 青空 (矢中小六年)
福島 花菜 (車郷小六年)
佐俣 里圭 (上郊小六年)
常田 咲 (新町第二小六年)
内海拓寿朗 (下室田小三年)



→表彰を受ける子どもの様子

清水 音雅 (中室田小六年)
▽市子育連会長賞
浅見 知陽 (南小六年)

春日 萌衣 (寺尾小三年)

小林央太郎 (八幡小六年)

鎌田 諒 (北部小六年)

細谷 優芽 (久留馬小二年)

大澤 碧波 (吉井小六年)

町田 菜摘 (入野小五年)

大野 美和 (南陽台小五年)

▽ジュニアリーダー賞
本木 梓 (吉井中央二年)



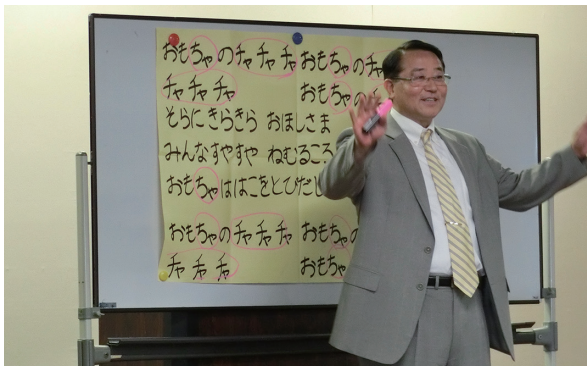
子ども会指導者初級認定講習会

平成二八年五月二十九日(前期)と六月二二日(後期)に校区代表者研修会が、高崎青年センターにて行なわれました。

前期は、県子連理事の関口利美さんによる「子ども会の目的や育成組織の在り方を考える」についての講義を受けました。その要点として次のことを学びました。
・「子ども会」の活動は子どもが

主体であること。子どもが計画し実行する。その中で、自分の言うことばかりでなく相手の気持ちを聞き入れる必要性、失敗しながら学んでいく...ということ。
・異年令の子どもが一緒に共同作

業をすることも大切である。そして役割分担をすることにより、高学年にはできても低学年にはこの仕事は無理...ということも理解し、上下の役割ができてくる。
与えられた役割をすることで緊張し、また一所懸命取り組み役割を果たそうと頑張る姿が見られるようになること。
大人の役割は、見守り安全を確認すること。時には少しヒントを与えてあげ子ども達が伸び伸びと活動し、達成感を味わえるよう配慮していく、ということが挙げられました。



→関口先生による歌の指導

←歌いながら体を動かしました。



その他には♪おもちゃのチャチャをみんなで歌いながら体を動かし楽しみました。(チャの時に立ち手を叩きます。)きつかったですが楽しいひとときでした。

共同研究では、「わらび平森林公園でのキャンプの内容をみんなで考える」というテーマで各班九名に分れて活動を行いました。

各グループ、様々な企画内容が発表されました。子どもが中心の活動における細かい配慮の必要性を改めて実感しました。

指導していただいた講師の皆様ありがとうございます。

←共同研究のグループ討議の様子



→楽しい行事企画のグループ発表



* 子ども会とは…

子ども会は、小学1年生から中学3年生までを構成員とし、地域を基盤とした異年齢集団です。

子ども会とは、仲間と活動を共有することにより、その子どもとその子どもが参加している集団のより望ましい成長を意図した会であり、その活動はコミュニティ活動です。地域を基盤とし、よりたくましい子どもと子ども集団を実現しようとする活動です。

家庭、学校では与えることが困難であるが、子どもの発達にとって必要不可欠な経験を与えることを目的としており、家庭・学校はもとより、地域の諸集団や諸機関と強い連携を保ちながら、活動を進めていくことが大切です。その活動を支える指導者と側面から援助する育成者（会）が必要であり、この子ども集団と指導者、育成者（会）を含めた総称としても用いています。

子ども会活動は、子どもの成長にとって欠かせない活動です。この子ども会活動は、子どもたちひとり一人が積極的に参加することによって成り立ち、その仲間が継続的な活動の中で新しい体験を積み重ねることが出来る場であってはじめて、魅力的なものになります。そして、この子ども会活動を継続的に進めるためには、おとなの人々の理解と協力が必要であることは言うまでもありません。

* 子ども会育成会とは…

子ども会は、その名のとおり子どもの手による子どものための会ですから、子ども会長を中心に子どもたち自らの手でやらせておけばよいのですが、とはいっても、子ども会の構成員はまだ心身ともに発達途上にあり、判断力も未熟な子どもたちですし、団体活動にも慣れていません。

そこで、できるだけ子どもたちの自発性や創造性を生かしつつ、これを見守り指導援助して最終的に団体活動の責任を負う大人が必要なことは当然です。そこが、成人団体・PTAなどのおとなの組織とは違う点です。子どもたち任せで放任したままで良いとは言えません。子どもたちのよき相談相手となる指導者と、それらの諸活動がしやすいように側面から支援する育成者（会）があって、はじめて子ども会は活発に動き出すのです。

子どもたちのよき環境づくり、状況整備などにしても、個人の力では限界があり持続性にも乏しくなります。また、育成者が個々にばらばらに活動していたのでは、全く効率の悪いものになってしまいます。育成者がよりあってグループを作り、団体を結成し、組織的で継続的な一貫性のある活動を行うことで、個人の力ではなし得ない多くの仕事ができるのです。また育成者自身が相互に学びあうことを通して、よき育成者としての役割、よき親、よき社会人としての姿勢について学び合うことで、子ども会の会員に良い影響をもたらすのです。

育成者が集まって組織的な活動を行うためには、会則、役割、会費、年間計画などを備えて育成活動を進めていかなければなし得ません。子ども会は子どもたちの運営で進めていきます。育成会は子ども会を側面から援助しながら、大人自身の経験や知識を高めるために学び合い、子どもたちの環境を良くするために努力する育成会自体の活動が必要となります。育成会は大人の会であり、子ども会あつての育成会という関係があります。この関係が基本であり、一番重要な事項です。子ども会と育成会の関係とその意義をもう一度考えていくことが必要ではないでしょうか？

編集後記

日頃より市子育連の活動にご協力をいただき有難うございます。今年も広報紙が出来上がりましたのでお届けいたします。また各公民館と図書館にも配布してありますのでご利用ください。

今年度も多くの行事に各校区会長さんをはじめたくさんの方々にご協力をいただき、無事に行事を行うことができました。ありがとうございました。

市子育連の活動などに「ご意見・ご感想」があればお寄せください。今後の参考とさせていただきます。よろしく願います。

発行責任者 会長 樋山 敏男

編集担当 副会長 丸山 芳典

広報部会 (理事) 青木 和哉

〃 〃 中島 伸太郎

広報部会 関田 香(城東小)

〃 〃 八木 明美(京ヶ島小)

〃 〃 江原 良(八幡小)

〃 〃 秋山 裕貴(倉渕小)

〃 〃 堀内 隆司(車郷小)

〃 〃 萩原 秀樹(中室田小)

〃 〃 谷島 浩(里見小)

〃 〃 富澤 晴江(下里見小)

〃 〃 三木 伸恵(入野小)

〃 〃 武藤 仁美(岩平小)